

日本の世界自然遺産と国有林野

- 「知床」(北海道)、「白神山地」(青森県及び秋田県)、「小笠原諸島」(東京都)、「屋久島」(鹿児島県)、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」(鹿児島県、沖縄県)、の5箇所が世界自然遺産として登録。
- 各遺産とも陸域の大部分が国有林野であり、これらを森林生態系保護地域に設定し、適切に保護・管理。

白神山地 世界自然遺産登録：1993(H5)

世界遺産評価基準：生態系

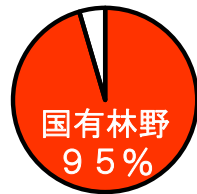
純度の高さ、原生状態の保存、生物の多様性の観点で世界的に特異なブナ林



ブナ林



縄文杉



屋久島

世界自然遺産登録：1993(H5)年

世界遺産評価基準：自然景観・生態系

世界的に特異な樹齢数千年を超えるヤクスギをはじめ、多くの固有種等からなる生物相、海岸部から中央部の山頂付近に及ぶ植生の典型的な垂直分布

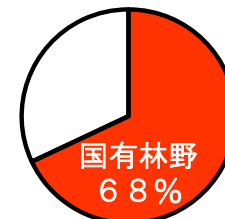
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島
世界自然遺産登録：2021(R3)年
世界遺産評価基準：生物多様性
地球規模で生物多様性保全上の重要性が認識されている日本列島の中でも生物多様性が突出して高い地域

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島

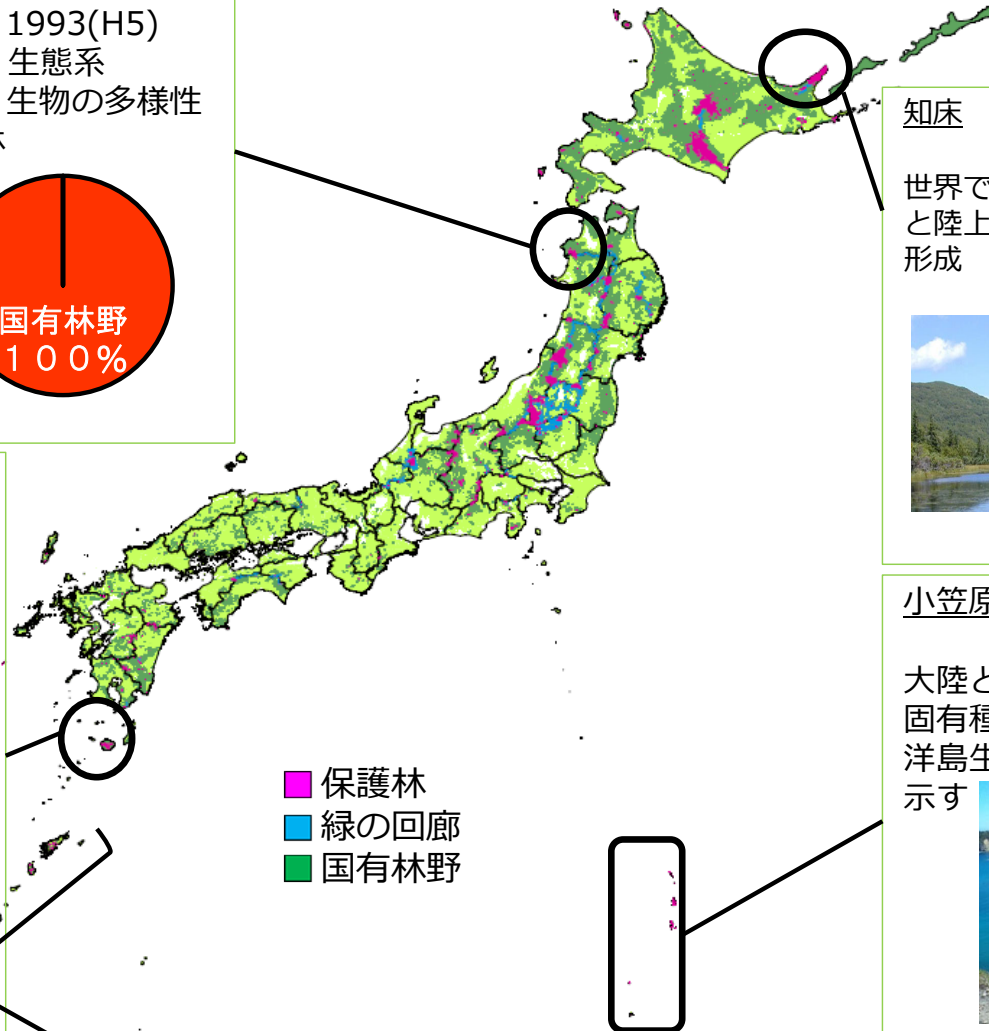
世界自然遺産登録：2021(R3)年

世界遺産評価基準：生物多様性

地球規模で生物多様性保全上の重要性が認識されている日本列島の中でも生物多様性が突出して高い地域



西表島の森林



※グラフは、世界遺産地域(陸域)に占める国有林野の割合。

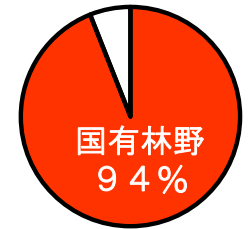
知床 世界自然遺産登録：2005(H17)年

世界遺産評価基準：生態系・生物多様性

世界で最も低緯度の季節海氷域であり、海洋生態系と陸上生態系が連続することによって複合生態系を形成



知床連山



小笠原諸島 世界自然遺産登録：2011(H23)年

世界遺産評価基準：生態系

大陸と一度も陸続きにならなかったことがない海洋島。固有種率の高さ、適応放散による種分化等、海洋島生態系における現在進行中の進化の過程を示す



小港海岸～コペペ海岸

